

「サステナブル」とは

サステナブル (Sustainable) は、sustain (持続する) と able (~できる) からなる言葉です。「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味があります。

「SDGs」とは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。「エス・ディー・ジーズ」と発音します。

ローザの想い

私たちローザは、持続可能な社会の実現のために、SDGs 達成に向けて貢献してまいります。



ローザの取り組み

1. リデュース



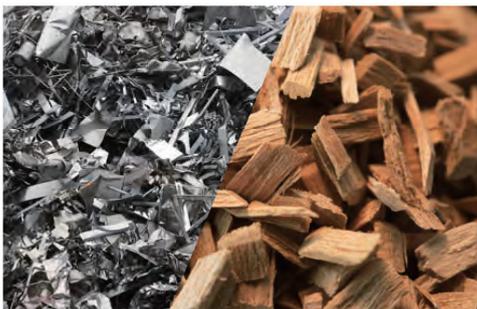
商品を運搬するときは、使い捨て梱包材ではなく、パルテナや布袋、またはダンボール箱（リサイクル可）を優先的に利用し、むだなゴミの量をできるだけ少なくしています。

2. リユース



レンタル商品の提供を通じて、無駄なく長期的に商品を活用することをすすめます。商品メンテナンスに力を入れることにより、ライフサイクルをのばし、廃棄処分される商品の削減に寄与します。

3. リサイクル

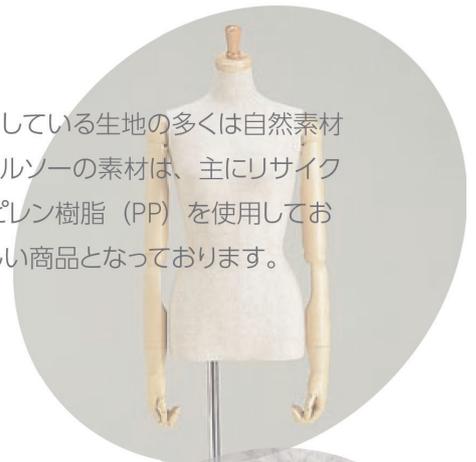


資源の循環を実現するために、金属製のレンタル商品は、使い終わったあと、素材の再利用をしています。また、木工製のレンタル商品は、使い終わったあと、チップにして再生紙として再利用しています。工事中においても、端材や廃材を分別し素材の再利用を推進しています。
(必要な場合は、素材の行き先を示すマニフェストの提出もいたします。)

4. エコ素材



ボディ・トルソーに採用している生地のお多くは自然素材を採用しております。トルソーの素材は、主にリサイクル性に優れたポリプロピレン樹脂（PP）を使用しております。人と地球に優しい商品となっております。

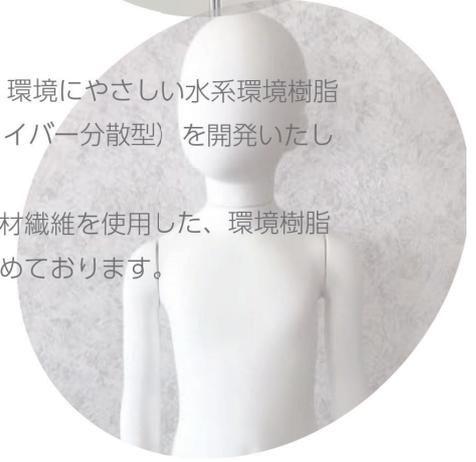


5. 環境樹脂マネキン



従来のFRPにかわる、環境にやさしい水系環境樹脂（セルロース ナノ ファイバー分散型）を開発いたしました。

その環境樹脂と天然素材繊維を使用した、環境樹脂マネキンの導入をすすめております。



水系環境樹脂とは

水系環境樹脂とは、

- ① バサルト繊維、アクリル樹脂、石膏などからなる完全水系の成形樹脂です。
(FRPの代替となる、環境にやさしい成形素材です。)
- ② 石膏にアクリル樹脂を加えることで、石膏自体の強度を向上させ、さらにセルロースナノファイバーを混合することによって、樹脂の脆弱さをより改良します。
- ③ バサルト繊維を補強繊維として使用することで、薄膜成形が可能となり、成形物を軽量化できます。

水系環境樹脂とFRPとの違い

	水系環境樹脂	FRP
物性	水系樹脂 (セルロースナノファイバー分散)	油性
物質	無害、危険物非該当、揮発性有機化合物なし 無溶剤・ガラス繊維不使用 皮膚疾患・臭気なし、換気不要 天然素材繊維使用	有害、危険物4類・5類該当 スチレン：特定化学物質、危険物4類 溶剤：危険物4類 パーメック：危険物5類 発特定化学物質あり ガラス繊維は皮膚疾患あり 臭気あり、要マスク・換気必要
ゴミ・産廃	成型時の刷毛洗い等はすべて水で可能 廃液ゼロ、産廃50%削減 現在リサイクルの方法(コンクリート骨材への混合等)を検討中	油性の為溶剤洗浄 廃液となり産廃の量が大幅にUP
その他	住居の台所でも製作可能	専門の工場でのみ使用可能 危険物取扱免許所有者の指導の元での製作可能

水系環境樹脂による成形について、

- ① 成形方法は、従来のFRPとほぼ同様です。
- ② 成形過程における、廃液・産廃量を大幅に削減できます。
(マネキン人形製作における廃液・産廃量は、約 $\frac{1}{10}$ に減少します)
- ③ マネキン人形・オブジェなど、様々な造形物を製作(成形)することが可能です。



埼玉県

ONE TEAM SAITAMA

SDGsパートナー

登録証

埼玉県SDGsパートナーとして登録し、ここに証します。

登録事業者： 株式会社ローザ

登録番号： 第774号

登録期間： 令和4年7月31日から 令和7年7月30日まで

埼玉県知事 大野 元裕



SDGs 未来都市

埼玉県

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 4 年 6 月 5日
住 所 川口市芝新町8番32号
県内企業等の名称 株式会社 ローザ
代表者役職 氏名 代表取締役 須賀一忠

株式会社 ローザ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ローザは創業以来、「ディスプレイを通じて、安心と感動を提供すること」をモットーに事業を進めてまいりました。「安心と感動」とは、顧客満足度の継続的な向上を目指すことであり、これは持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念に合致するものです。私たちローザは、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて、積極的に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社有建物の照明設備のLED化をすすめ、省エネルギー対策を実行する。 <2021年の数値> ①LED化率 0% ②電力使用量87,000kw/年	<2030年に向けた指標> ①LED化率100% ②電力使用料35,000kw/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①LED化率50% ②電力使用量61,000kw/年
社会	地元の児童・学生たちを対象とした、工場見学を実施する。 <2021年の数値> 年間0回	<2030年に向けた指標> 2回以上開催(参加者のべ20名) <取組開始3年後に向けた指標> 1回開催(参加者のべ10名)
経済	65歳以上の高齢者雇用や、介護・育児休暇取得率を増やし、多様な働き方を推進する。 <2021年の数値> ①高齢者雇用比率3%(2名/70名) ②介護・育児休暇取得率0%(0名)	<2030年に向けた指標> ①雇用比率6%(4名/70名)②取得率(該当者の)30% <取組開始3年後に向けた指標> ①雇用比率4%(3名/70名)②取得率(該当者の)20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。